

明けましておめでとうございます

本年もよろしく願いたします



2020年はコロナ禍という厳しい状況が続きました。
政府には、収束するためのあらゆる努力をしてもらいたいと思います。

与党は、昨年、野党の臨時国会の会期延長要請をふりきり早々に国会を閉じました。
安倍政権から菅政権への交代がされ、期待された方もいるかと思えます。
しかしその期待を裏切ることが、つぎつぎと明らかになりました。
安倍前総理の「桜を見る会」への対応は、犯罪的なものでした。特に前夜祭の費用について国会での説明が全く虚偽であることが明らかになりました。その虚偽答弁を当時の官房長官である菅義偉氏はそのまま追認したのです。政権中枢の汚職や政治資金問題も解明すべきです。

国権の最高機関としての国会は、重要政策、法律案を審議し、国政の疑いを調査して国民に知らせることが責務です。行政権は憲法の下、法律を誠実に執行する機関です。

この菅政権の問題点はたくさん現れてきていますが、以下5点を特に指摘します。

1. コロナ対策、Go To政策の推進で、新型コロナウイルスは拡大したと考えられます。
弱者対策、経済対策というなら国会を開いて国民の声を聞いて政策を進めるべきです。
2. 学術会議会員候補者6名の任命拒否をし「答弁を控え」て理由を示さない。説明責任回避。
学術会議法違反で、憲法解釈の勝手な改変です。ただちに6人全員を任命すべきです。
3. 核兵器禁止条約が今年1月22日発効することになりました。
日本政府は被爆国として、速やかにこの条約の署名・批准を行うべきです。
4. イージスアショアの政策失敗を取り戻すとして、際限のないお金をかけて敵基地攻撃態勢を強化しています。軍拡競争ではなく、戦争をしないという原点に戻るべきです。
5. 憲法改正の発議に向けての体制を強化しています。
憲法前文・九条の原点を確認し、世界へ訴え、日本国の存在感を高めるべきです。

☆ **核兵器禁止条約の署名・批准を日本政府に求める署名について詳細は裏面です。**

☆ **新たな菅政権下での憲法改正の発議を許さない署名が呼びかけられています。
改憲発議反対全国緊急署名改訂版について 安倍改憲NO! 全国市民アクション。**

①資料1・お知らせ・署名についてのご注意 ②署名用紙改訂版

確認して取り組みましょう。

集約は国会の常会中の提出を考えて3月27日(学習会日)を第一次とします。

今年は衆議院議員選挙があります。 憲法を尊重・擁護する政府を実現しましょう。
昨年配付した9月25日市民連合が立憲野党の政策に対する要望書を読んでもみましょう。

健康に気をつけながら取り組みましょう。
新しい年度となりましたので**年会費500円**をお願いします。

いよいよ被爆者悲願の核兵器禁止条約 1月22日発効!

日本政府に対する署名に取り組みます。

戦後75年、被爆者と国民の闘いが世界を動かし、ついに核兵器が違法であることが示され、世界は核廃絶に向けて確実な一步を踏み出すことになりました。

同条約は2017年の国連会議で122ヶ国の賛成で採択され、50ヶ国で批准された後90日で発効を得るとし、昨年10月24日にそれが達成されたものです。

しかし、現在世界にはまだ1万4千発近くの核弾頭、2000発近くの核ミサイルが存在し、意図的又は偶発的に核爆発＝核戦争が引き起こされる危険があります。

1970年発効の核不拡散条約(NPT)で核兵器所有が認められている国連常任理事国5か国(米国・ロシア・英国・仏・中国)とその同盟国、他の核保有国4か国(イスラエル・パキスタン・インド・北朝鮮)が禁止条約に反対し続けています。

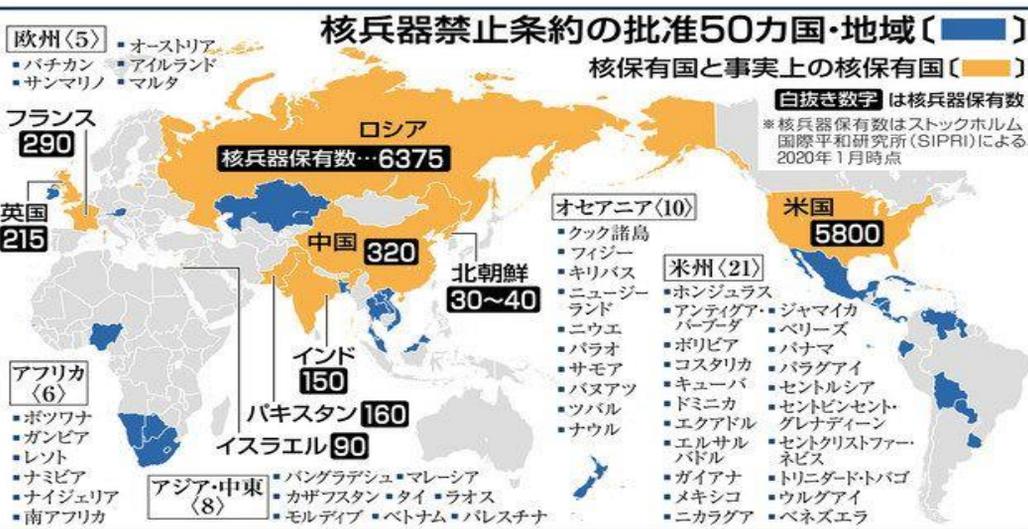
世界で唯一の戦争被爆国の日本政府は「核の抑止力」による安全保障政策をとり続け、同条約が「我が国の立場と異なる」「署名する考えはない」と被爆者・国民の声に背を向け続けています。国連の中満泉・軍縮担当上級代表は、昨年(2019年)の国連総会第一委員会(軍縮・国際安全保障)の場で「核の危険性を取り除く唯一の方法は核廃絶だ」と強調しました。

平和憲法を持つ日本が「核なき世界、戦争のない世界」のために先頭に立って力を発揮すべき時です。

私たち九条の会・いすみ市は、資料2「核兵器廃絶日本NGO連絡会」の声明による、日本政府に求める項目を支持します。そして日本政府に対する署名に取り組みます。

(2020年12月18日現在、日本国内の508の地方議会が日本政府に対し、核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書を採択しています。)

九条の会・いすみ市 運営委員会



お知らせ
日本政府に対する「署名・批准」を求め、呼びかけ文と署名用紙を添付しました。1月23日(学習会日)を第一集約としますので、よろしくお願ひします。

学習会
1月23日(土) 2月27日(土)
3月27日(土) 4月24日(土)

時間 10時から12時
場所 大原文化センター
資料代100円

コロナ禍で自殺者が急増し、夜通し寒風に晒されながらも、働き生活を繋いでいた女性が殴られ殺された。寛容さを失くし不安定な社会で生きている私たち、明日も平穏な生活が続くとは限らない。西千葉「食材もってけ市」を始め全国の学生らが食料品や日用品を無料配布し、経済的に苦境に陥っている学生や近隣の人を助ける取り組みをしているという。ほんの少しの優しさを分けあいたい。

